

加西ふるさと夏ミーティング 2012 質問等一覧

校区名		開催日時・場所	参加者数	
九会小学校区		6月30日(土) 18:00 ~ 20:30 農村環境改善センター	1部:30人 2部:31人 合計:61名	
第1部				
No	第5次総合計画 施策分類	意見概要	市の回答など	
			回答者	内容
1	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	幼稚園の長時間部と短時間部になったときの料金はどうなるのか	市参事	幼稚園になったからといって、料金は変わらない。九会幼稚園の場合で、14時で帰宅する場合は、変化無し。18時までみてもらうとなると、預かり保育の料金が必要。
2	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	幼稚園の長時間部と短時間部への変更は、自由にできるのか。	市参事	1年に1回に限り、変更が可能。
3	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	幼稚園になると、4歳児までは長時間部と同じで5歳になったら短時間部になるのか。	市参事	幼稚園の短時間部は、4歳児5歳児が対象となる。
4	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	4歳児5歳児で短時間部と長時間部の選択をするということか。	市参事	そのとおり。今のままであれば、幼稚園は5歳児しか受け入れていないが、幼稚園となれば、4歳児も幼児教育の対象となる。
5	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり		市参事	参観日などの行事の中で、保護者の方への説明会を予定している。

6	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	九会保育園の駐車場が狭く、お迎えに行くと子供達が溢れかえっている。幼稚園となって、さらに人数が増えると厳しいので改善をして欲しい。	市参事	おっしゃるとおりで、現在もお迎えの車が多いのは認識している。すぐに拡張は難しいので、時差お迎えなどで対応できるか検討していきたい。
7	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	田原保育園は今年度をもって閉園し、九会に統合ということだったが、これは決定事項なのか。近隣の方との調整もあると思うので、今後どのように進められるのか。	教育長	子供は集団の中で育てて欲しいと考えている。100名程度と一緒に過ごす環境を作っていきたいので、3園の統合を提案している。
8	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	建物の改修については、幼稚園化するまでに行われるのか。	市参事	幼稚園化するまでに、内部の改装をしていきたい。
9	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	幼稚園の建物自体は、何人は入れるぐらいのものになるのか。見込みでも。	市参事	新築については、現在未定です。子供が減っているので、大きさについては検討が必要。
10	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	保育園等の改修の話があったが、保育園に行く道路がでこぼこなので、早く改修してほしい。また、一部で狭くなっている。	ふるさと創造部長	前回、幼稚園構想があったときに、道路確保の為に今の状態になっている。安全安心の為には、ガードレール等の設置は考えなければならない。
11	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	通勤時間帯に保育園と小学校の間の道を抜け道として使用する人がいる。ここは中学生の通学路にもなっているので、時間を制限して、通行規制はできないか。	ふるさと創造部長	今回の通学路予算の中で、中学生の通学路も対象になるので、ぜひ項目に挙げてください。
12	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学路改修の上限が300万ですか。	ふるさと創造部長	上限です。ただし、この予算で完了すると思っていないので、整備残ができたところについて、翌年以降も予算措置していく材料にしたい。
13	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	学力について、差が出てきているのかなと思っている。市としては、どう思っているのか。	教育長	加西市の小中学生の学力は高い水準。さらに、高い水準を求める親は塾に入れたりしている。これは致し方ないと思う。

14	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	学力の差のある場合は、指導はどちらに合わせるのか。	教育長	今は、少人数指導できる教師を配属している。支援が必要な子供達には、アドバイザーを配置している。落ちこぼれを作らない体制できめ細かく対応している。近隣市ではないこと。成績とは分けて考えていただきたい。
15	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	中学校の部活動が生徒の減少で、したいスポーツができない環境になっている。どのような基準で、部活の存続は決められているのか。	教育長	部活動は競技力アップの為ではない。集団の中で人間関係を学び、努力することを経験させることを優先している。しかし、小学生のころにスポーツクラブに通い、同じ競技をしたいという子供の気持ちはよくわかる。その受け皿としてスポーツクラブ21などで指導者を地域の方から協力してもらえたらどうかと思っている。
16	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	子供の遊び場が少ない。いこいの村の公園が古いまま。九会地区には無い。	市長	この件に関しては、大変多くのご意見をいただいている。財政的な面の厳しさはあるが、整備していきたいと思っている。
17	住民参画・男女参画で地域を元気にする 加西	タウンミーティングで出た意見を、フィードバックしてほしい。発言した者も達成感や充実感を感じられると思っている。	市長	2月のタウンミーティングでの意見は、HPに公表している。丁寧に対応していきたい。
第2部				
18	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	国道372号の繁昌交差点改良について、事業範囲と進捗状況、完成見通しは。	ふるさと創造部長	県土木事務所より説明が代表区長会であった。平成21年から26年の間で事業を実施。進捗率は25%、23年度に用地交渉終了。24年度に移転完了。それ以後の分は不明
19	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	県道三木宍粟線の播磨農高前の信号で、朝の渋滞が発生していることについて。県道高砂北条線のほうは渋滞が無い。交通誘導をお願いしたい。	ふるさと創造部長	ご指摘のとおり。県道三木宍粟線から工場に入ってくることを、会社のほうで定められている。渋滞の件は認識しており、県のほうがパナと協議することのこと。
20	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	姫路や加東では、どんどん国道のバイパスが作られている。加西の国道は、歩道が無い。加西の整備が遅れている。	市長	すでに、議会とともに国土交通省に要望済。引き続き、強く要望していく。

		る。要望してほしい。		
21	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	既存の団体が多くでき、人が流れてしまい、地域の団体が減っていった。ふるさと創造会議で、また新たに組織を作るとなると負担になる。	ふるさと創造部長	地域の課題を地域で議論して地域の人が参加することを理念としている。まだ、これからみなさんの意見を聞きながら作っていかうと考えている。
22	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	消防団活動について、市の規模に比べて消防団員の数が多いのではないかと。もう少し減らすか、消防団活動を見直す時期ではないかと。	副市長	地元を守ってもらうという意味では、消防団の数を減らすことは、難しいと思っている。しかし、隣の町と協同で設置しようということも地域で検討することも考えられる。
23	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	災害・防災のときの情報提供については、防災ネットで十分なのか。いろいろな情報伝達手段があるが、市からの防災連絡はどうなのか。また、各地域からの情報をどこに集めるのかを決めているのか。	副市長	極めて不十分だと認識している。防犯ネットについては、周知をしている。市からは区長さんを頼りにしているのが現状。FAXなどがあれば、同時送信ができるがすべての区長さんがお持ちとは限らない。町ごとの状況を把握しながら、いろいろ検討しているが苦慮している。
24	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり		副市長	自主防災組織があると思うが、月または年に1回訓練していただき、町内で防災意識を高めていただきたいと思っている。土嚢袋を配布しますので、町での確保をお願いしたい。
25	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	市民が知る方法として、県のHPで見るのがひとつの方法である。		
26	住民参画・男女参画で地域を元気にする加西	ふるさと創造会議のイメージはわかった。具体的な目標とはどういったものか。		
27	住民参画・男女参画で地域を元気にする	区長の会議が多くって、半分にできないか。		

	加西			
28	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	災害伝達の方法については、各区長さんの家に防災無線あるところがあるので、それを活用できないか。統一してできるといいなと思っている。		
29	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	消防団は、30代から40代男性のコミュニケーションの場となっているので、これを発展できないか。婦人会も活動しているところとしていないところがある。失くしてしまうと復活は無い。やはり個人ではなく、まとまっていく必要があると思っている。		